

## 満足度調査（2021年度）分析結果

学修支援センター

2022年4月2日

本資料は、2021年12月15日から2022年1月28日にかけて学修支援センターが実施した「学修状況・満足度調査」に関して、学修状況に関する部分の回答内容を分析したものである。同様の調査は、抽出形式で2013年度前期から、悉皆形式で2017年度前期から年2回ずつ行ってきた。しかしながら、最近、学生向けの別調査やアンケートの機会も増えてきたことも踏まえ、2019年度からは学修状況と満足度を年度末にまとめて調査している。

今回の調査は、本学が学生に提供しているWebサービスを用いて全学生を対象として実施した。また、これまでと同様、学修支援センターに在籍する教務委員の方々を中心にそれぞれの学部の取りまとめを行っていただいた。

回答状況を表1に示す。人数が少ない学部・学年もあるが、全学部・学年より回答が得られた。全在籍者数に対する回答率は17.0%と、前回の23.6%より6.6ポイント低い結果となった(前々回は45.9%)。前回の回答数と比べると、学部別では5~8割程度になっており、学年によらず減少の傾向が見られる。一昨年度に比べて前回・今回の回答数が少ないのは、本学の新型コロナウイルス感染拡大防止対策などで例年よりも学生に連絡・調査依頼する機会が増えたことや、教職員向けに調査の趣旨などの周知不足が原因と考えられる。

表1 回答状況（学部・学年別）

	総合経営学部	社会学部	ソフトウェア 情報学部	薬学部	学年計
1年生	17名	19名	9名	8名	53名
2年生	14名	9名	19名	13名	55名
3年生	6名	23名	11名	8名	48名
4年生	13名	10名	6名	8名	37名
5年生				8名	8名
6年生				4名	4名
学部計	50名	61名	45名	49名	205名

調査における質問項目をこの資料の最後に添付する。本調査では、学修支援に関して授業の難易度や支援の必要性を、学生支援に関して健康面・経済面等の支援の必要性を尋ねた。また、それぞれについて質問の後に満足度と判断理由を回答してもらった。さらに、今後の改善に向けた意見・アイデアを募っている。

以降、それぞれの質問に対して、前期調査との比較も含めた分析結果をまとめる。なお、質問1は、学修時間に関する項目であり、こちらの分析は「学修状況調査（2021年度）分析結果」にまとめている。

## 質問2. 「学修支援」の必要性と評価

質問2は6項目で構成されており、このうち(ア)~(エ)では学修支援に関する状況把握と支援の必要性を回答する形式となっている。回答は、「そう思う」から「そう思わない」までの4段階と「分からない」の中から選択させた。

平均的な授業の難易度についての学部別回答分布は、図1のようになった。全学平均では「そう思う」が7.8%と「どちらかといえば、そう思う」が27.3%で、合わせて35.1%となった。この合計値は、前々回(2019年度)が39.4%、前回(2020年度)が37.8%で、前々回から少しずつだが減少の傾向がある。学部別では、総合経営学部が26.0%(14.9ポイント減)、社会学部は32.8%(11.4%増)と大きい変動がみられる。

学年別(5年生と6年生は回答が少ないため含めない)では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、学年進行にともなって2~3年次いずれも15ポイント程度減少している。1年次に最も授業を難しく感じる学生が多く、学年が進むにつれて減少している。

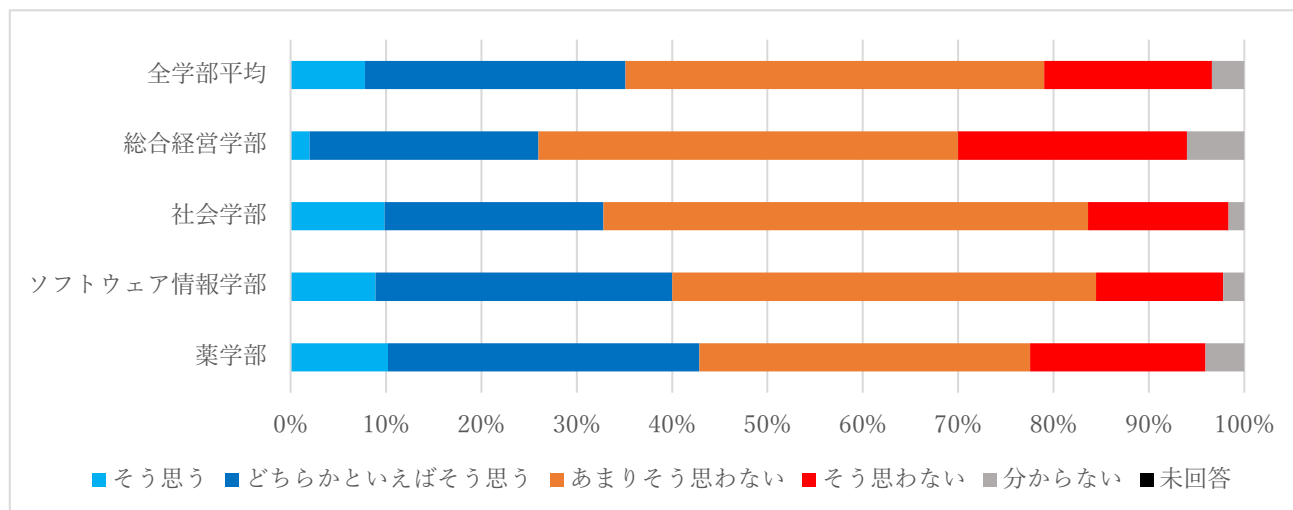


図1 「2(ア) 本学で受けている授業の難易度は、全科目を平均するとかなり難しいと思っていますか」の回答分布

また、普段の授業で難しさを感じることもあるかを問うたところ、回答分布は図2のようになった（配色は図1と同じ。図3～4, 6～10も同様）。質問内容が近いので、ソフトウェア情報学部以外の3学部では結果は2(ア)と同様であった。ソフトウェア情報学部では「そう思う」の割合が2(ア)よりも10ポイント程度も多く、全学部の学年別では3年次、1年次、2年次の順に難易度の高い科目が存在しているとみられる。

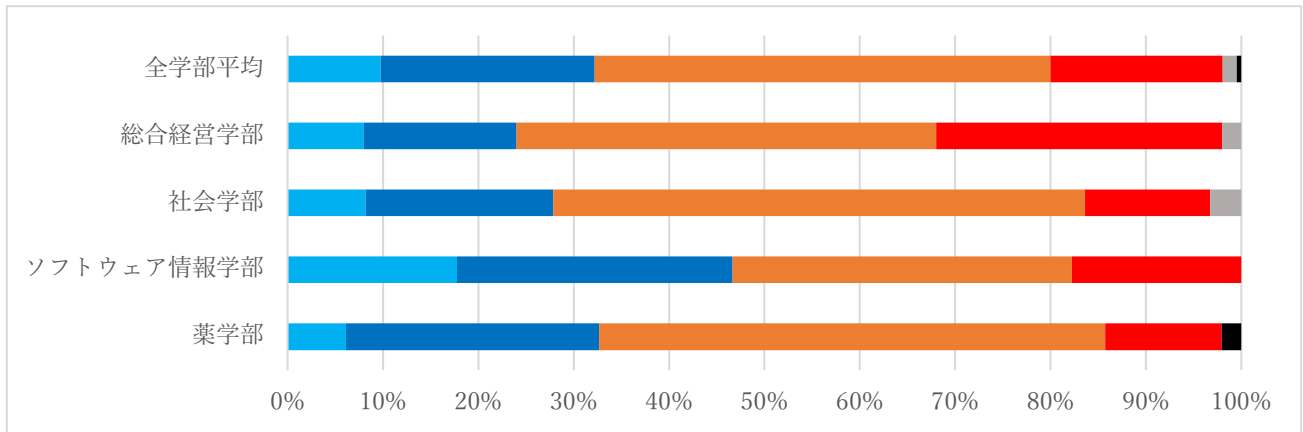


図2 「2(イ) 難しく理解できない、または授業のペースに追いつけないと感じることはありますか」の回答分布

学修に対する支援が必要と思うかどうか尋ねたところ、結果は図3のようになった。薬学グラフの形は全体的に2(ア)や2(イ)と似ているが、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせた値は薬学部では49.2% (12.2ポイント減)、総合経営学部では40.0% (15.5ポイント減)と大きく減っており、他の2学部も少しずつ減少している。一昨年度から昨年度では増加している学部もあったが、新型コロナウイルス感染防止対策下の対応策が功を奏しているものと思われる。学年別では、1年次は56.6% (5.5ポイント増)だが、2～4年次は30～40%程度で前回はから減少している。

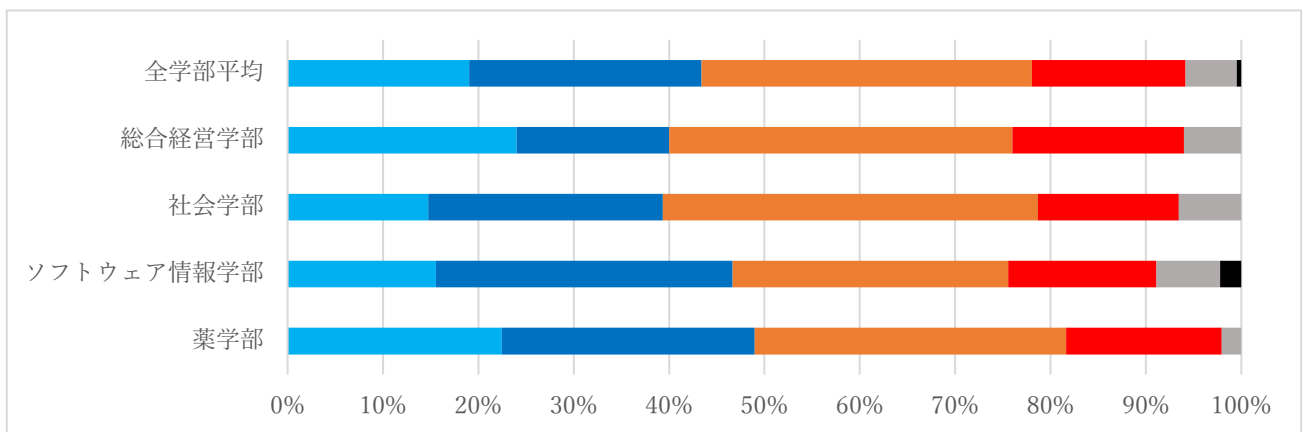


図3 「2(ウ) 学修に関して支援が必要だと思っていますか」の回答分布

支援を必要としている学生が、実際に本学で提供している学習相談窓口やオフィスアワーなどの利用を考えるか確認した結果は、図4のようになった。2(ウ)での支援の必要性と比べると、傾向は近いものの「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の割合が低い。これらのことから、支援が必要と考えているものの、実際に行動につなげようとしていない学生が一定数居るのではないかと考えられる。

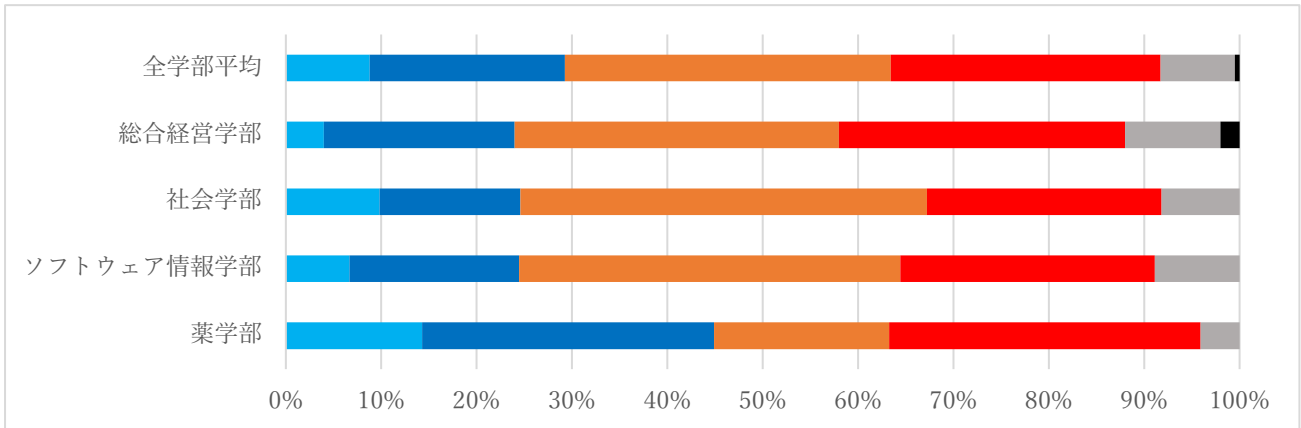


図4 「2(エ) 学習相談窓口やオフィスアワーなどを利用したいと考えることはありますか」の回答分布

(ア)～(エ)を踏まえ、2(オ)では学修支援に対する満足度を尋ねた(図5)。この質問では、「満足」から「不満」までの4段階と「分からない」の中から回答を選択させた。

回答分布を見ると、全学的には「満足」が11.2%と低いが、「どちらかといえば、満足」を合わせると66.8%と、前回より10.8ポイント増加した。残りの回答では「分からない」が14.1%と多めで、「不満(5.9%)」と「どちらかといえば、不満(12.7%)」の合計は18.6%であった。前々回・前回に続き、今回は学部間の差はほぼ無く全学部平均ではすべての回答率がほぼ同じであった。学年別でみると、昨年度低かった4年生の満足度は70.3%と他の学年よりも高い結果となった。

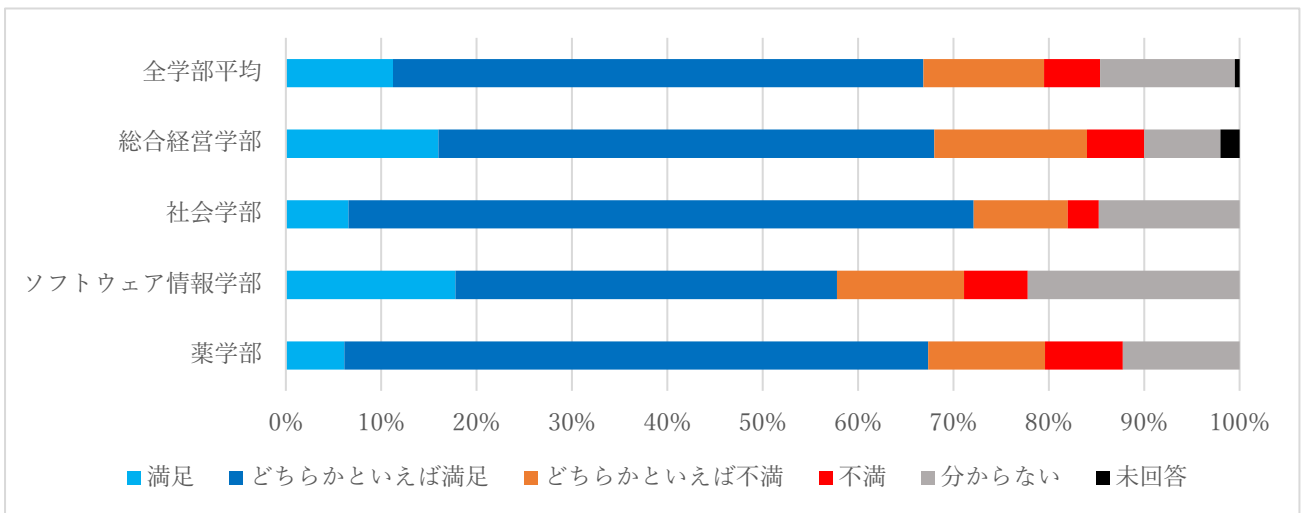


図5 「2(オ) 学修支援や学修環境についての満足度を、選択肢から選んでください」の回答分布

2(カ)では、前問(オ)の回答理由を自由記述形式で尋ねた。全体の記入率は 68.7%と、7 割程度の学生が回答した（前々回は 4 割、前回は 6 割程度）。「満足」の理由としては、授業時の教員の工夫や困った際の支援等が、「どちらかといえば、満足」ではこの二点と合わせて学修環境の充実が、それぞれ多くあげられている。一方、「不満」と「どちらかといえば、不満」の理由には新型コロナウイルス感染を危惧する内容や、授業の妨げとなる学生が居ること、及び学修環境に関する不満が多い。

### 質問 3. 「学生支援」の必要性と評価

質問 3 は 7 項目で構成されており、このうち(ア)～(オ)では、学生支援に関する状況把握と支援の必要性を尋ねている。回答は、質問 2(ア)～(エ)と同じく、「そう思う」から「そう思わない」までの 4 段階と「分からない」の中から選択させた。

初めに、心身の健康維持に対する支援の必要性を尋ねた（図 6）。全体では「そう思う」が 15.1%、「どちらかといえば、そう思う」が 22.0%で、合わせて 37.1%が必要性を感じている。学部ごとの値には大きな差はなく、昨年度低かった薬学部も 34.7%（7.8 ポイント増）と全体の値に近づいた。

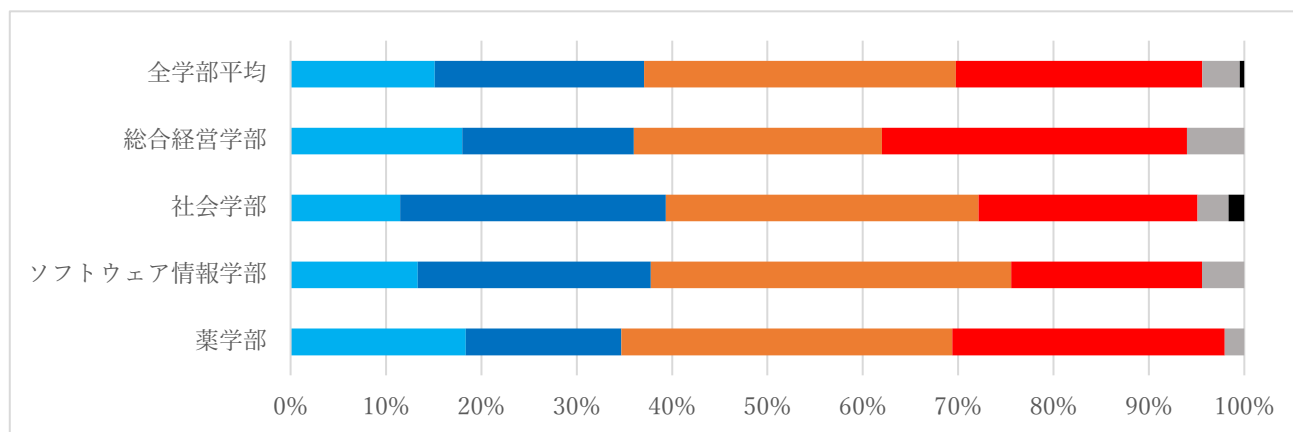


図 6 「3(ア) 心身に関する健康維持について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

学費や生活費等の経済面での支援に対しては、図7の回答分布となった。「そう思う」の割合は全学部とも薬学部が51.0%（8.3ポイント増）、他の学部は4割前後となった。「どちらかといえば、そう思う」と合わせた割合も薬学部が突出して75.5%と高い。全体では「そう思う」が41.5%、「どちらかといえば、そう思う」が23.9%、合わせた値は65.4%で、前回まで横ばいであったが減少の傾向がみられる。

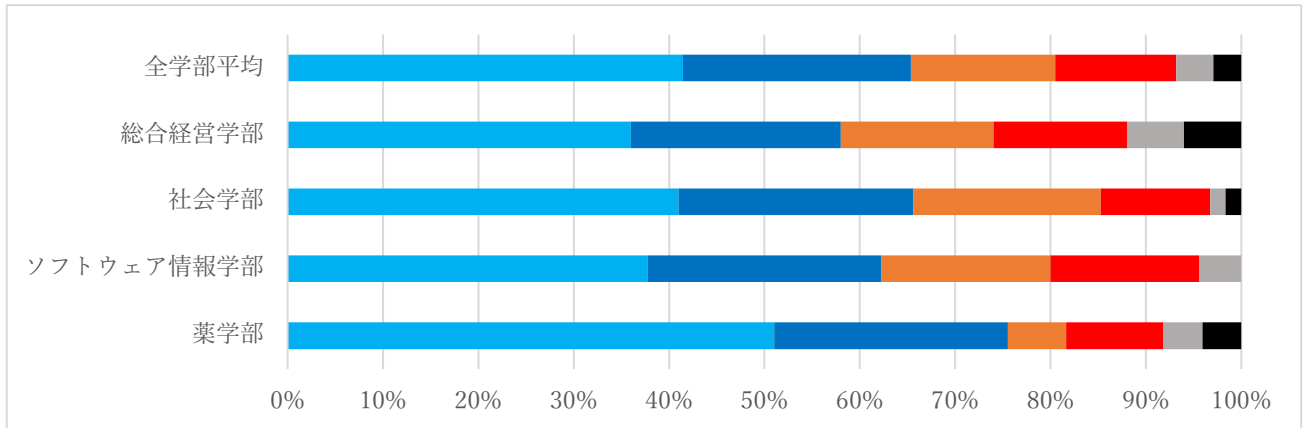


図7 「3(イ) 経済面（学費、生活費など）について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

本学は、総合経営学部や社会学部で部活動に取り組んでいる学生が多いが、こうした正課外の活動に関しては、図8のようにこれら2学部で支援が必要と感じている学生が多い。もっとも、総合経営学部では「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせた値が42.0%（16.2ポイント減）と大きく減少している。また、薬学部では正課外活動に取り組む学生が少ないためか、「分からない」の割合が高い。前問と同様、新型コロナウイルス感染防止対策のための部・サークル活動を制限した影響を危惧していたものの、回答分布からはとくにその影響が見られない。

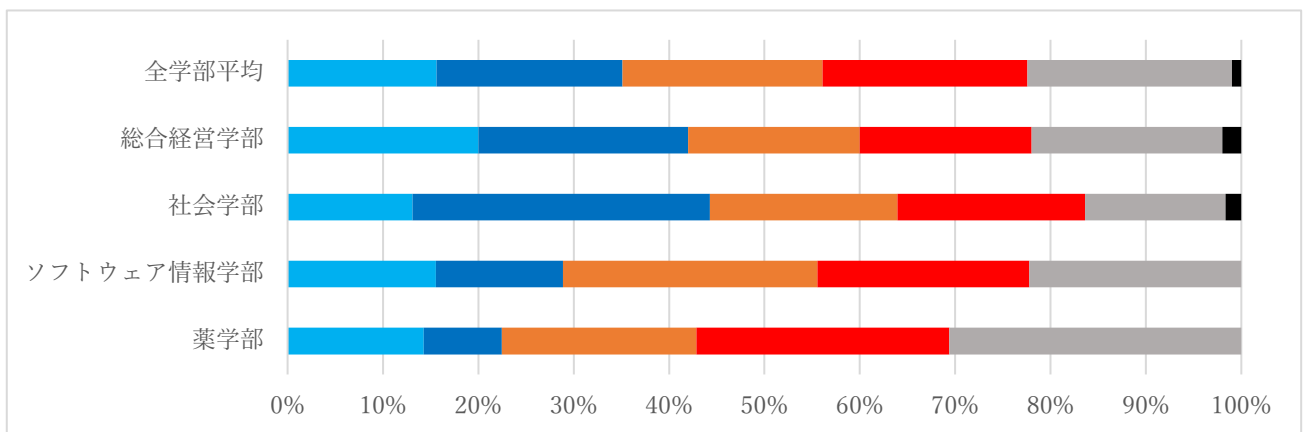


図8 「3(ウ) 部・サークル活動などの正課外活動について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

他の学生や教職員との人間関係についての支援に対しては、図 9 の回答分布となった。全体では「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた率は 34.1% (3.7 ポイント減) で、特に総合経営学部で 28.0% (15.6 ポイント減) と大きく減少した。

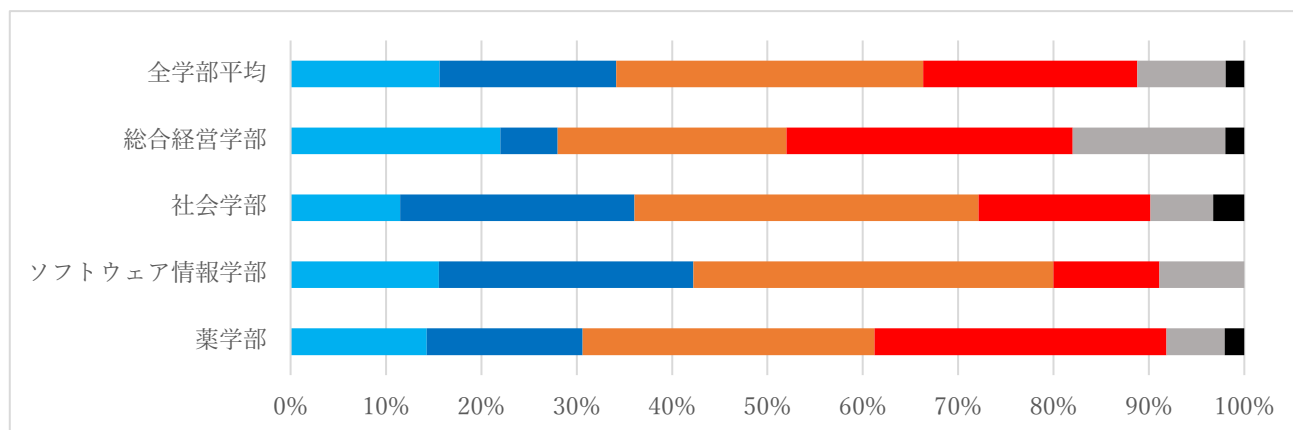


図 9 「3(エ) 他の学生や教職員との人間関係について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

3(ア)～(エ)では対象別に支援の必要性を尋ねたが、(オ)では支援を必要とする学生が、本学が提供している保健室、カウンセリング制度、及び相談窓口の利用を考えたどうかを確認した。図 10 に見られるように、全学部平均では 7.8%が「そう思う」と回答し、この値は前々回及び前回とあまり違いはない。学部別での「そう思う」の回答割合は、薬学部が 12.2% (9.2 ポイント増) と前回より増加し、他の学部は数ポイントずつ減少している。

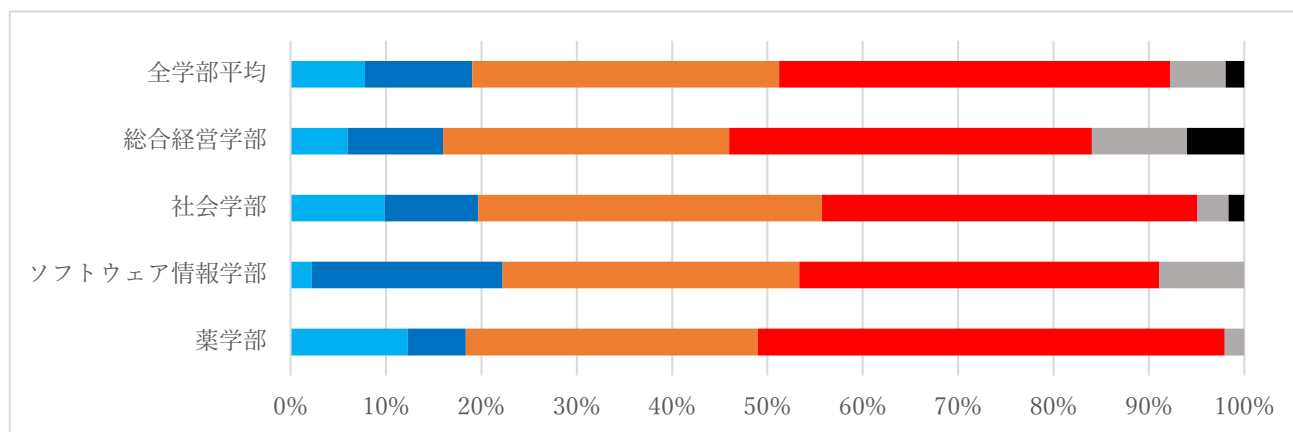
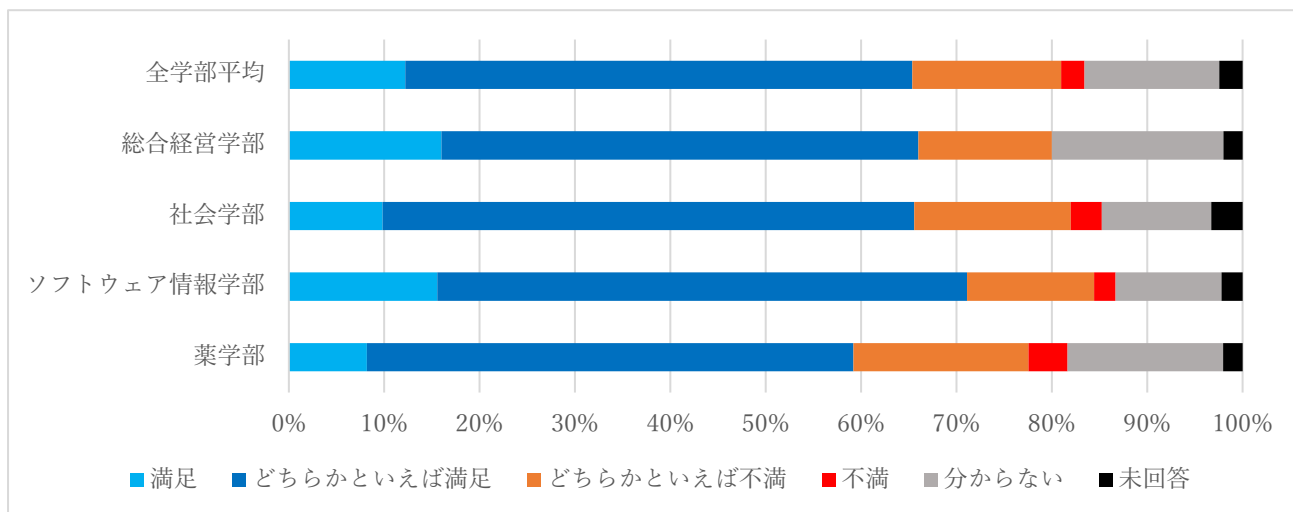


図 10 「3(オ) 保健室やカウンセリング制度、および相談窓口などを利用したいと考えることはありますか」の回答分布

(ア)～(オ)を踏まえ、3(カ)では学生支援全体に対する満足度を尋ねた(図11)。この質問では、「満足」から「不満」までの4段階と「分からない」の中から回答を選択させた。

全体では「満足」が12.2%と低めのものの、「どちらかといえば、満足」の53.2%を合わせると65.4%が満足している状況が見られた。一方、「分からない」が14.1%と、前回同様に一定の割合居ることが分かった。学年別では、1年次、3年次の満足度が低い。特に1年次の「満足」「どちらかといえば、満足」を合わせた値は54.7% (12.3ポイント減) と大きく減少している。



3(キ)では、前問(カ)の回答理由を自由記述形式で尋ねた。全体の記入率は57.4%と2(カ)と同じくおおくの学生が回答してくれた。「満足」の回答理由には、特待生制度に関するものが多い。「どちらかといえば、満足」では、特待生制度に加えて、教職員の対応の良さが多くあげられている。一方、「不満」や「どちらかといえば、不満」の理由は、環境の悪さや新型コロナウイルス感染防止対策に関する不安についての意見が多くあげられた。



質問 4. 支援体制や学修環境をより良くするための意見やアイデアを自由に書いてください

この設問は、これまでの学修時間・学修行動調査で常に最後に尋ねてきたものである。今回は 77 件の回答が寄せられた。以下に分類とそれぞれの主な内容をまとめる。

- 授業の方法
  - 新型コロナウイルス感染防止対策、授業時の私語対応、授業方法の工夫
- 学生支援
  - 相談しやすい環境の整備、学年をまたぐなど学生間の交流増進
- 施設・設備
  - 授業外学修を行う環境、ネットワーク環境、冷暖房の環境、全体的な施設・設備の改善
- その他
  - 他学生の迷惑行為対策、学生の意見を集約する仕組み

これらの内容は、前回までの学修時間・学修行動調査と同様のものも多い。

なお、この設問（質問 4）の回答と、学修支援に関する満足度の回答理由（質問 2(カ)）、学生支援に関する満足度の回答理由（質問 3(キ)）は、それぞれ個人が特定されないようにした上で、内容を整理して教職員間で共有している。

## 2021 年度「学修状況・満足度調査」(満足度の部分)

2. 「学修支援」の必要性や現状評価について、以下の質問の回答を選択肢から選んでください。

そう思う、どちらかといえばそう思う、あまりそう思わない、そう思わない、分からない

- (ア) 本学で受けている授業の難易度は、全科目を平均するとかなり難しいと思っ  
ていますか
- (イ) 難しく理解できない、または授業のペースに追い付けないと感じることは  
ありますか
- (ウ) 学修に関して支援が必要だと思っ  
ていますか
- (エ) 学習相談窓口やオフィスアワーなどを利用したいと考えることはありま  
すか

- (オ) 「学修環境」についての満足度を、選択肢から選んでください。

満足、どちらかといえば満足、どちらかといえば不満、不満、分からない

- (カ) 前問の回答理由として、個人的にもっとも影響が大きいことは何か、自由に書いてください

3. 「学生生活に関する支援」の必要性や現状評価について、以下の質問の回答を選択肢から選んでください。

そう思う、どちらかといえばそう思う、あまりそう思わない、そう思わない、分からない

- (ア) 心身に関する健康維持について、支援が必要だと思っ  
ていますか
- (イ) 経済面(学費、生活費など)について、支援が必要だと思っ  
ていますか
- (ウ) 部・サークル活動などの正課外活動について、支援が必要だと思っ  
ていますか
- (エ) 他の学生や教職員との人間関係について、支援が必要だと思っ  
ていますか
- (オ) 保健室やカウンセリング制度、および相談窓口などを利用したいと考  
えることはありますか

- (カ) 本学での支援や環境についての全体的な満足度を、選択肢から選んでください。

満足、どちらかといえば満足、どちらかといえば不満、不満、分からない

- (キ) 前問の回答理由として、個人的にもっとも影響が大きいことは何か、自由に書いてください

4. 支援体制や学修環境をより良くするための意見やアイデアを自由に書いてください